

物資販売運動2年目に突入 日常販売へのご協力を



87. 4. 9

No. 2522

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二二七、二〇七

全組合員のみなさん。全国の闘う仲間のみなさん。
動労千葉は、国鉄「分割・民営化」の攻撃の中で、二波のストライキをうちぬき二八名の解雇者を出しながらも、闘う体制を堅持して「4・1」にただれこみました。闘いはこれからです。この闘う体制を支える物資販売運動も二年目に突入し、いよいよ本領を発揮する時がきました。動労千葉協販部は次の通り「日常販売」への協力要請を全国に発し、「分割・民営化」粉碎まで断固闘うことを明らかにしました。御支援、御協力をおねがいします。

新たな日常販売へのご協力のおねがい

春もたけなわとなり、地方選の真只中のご奮闘の皆様方には大変ご多忙のことと存じます。

中曽根内閣は売上税や国家機密法、防衛費のGNP比一%枠突破など、民衆を戦争にひきずりこむ政治を強行しつつあります。しかし、売上税導入問題が示しているように、私たち労働者の怒りに完全においつめられています。今こそ、中曽根内閣打倒のチャンス到来であります。

中曽根内閣の五年間に、私たち国鉄労働者は二十万人もの仲間の首を切られてきました。労働者の団結と人間としての誇りをうばいとる攻撃をかけ、労組をたたきつぶすことに政治生命をかけてきました。労働者の怒りはどれほど深く大きなものでありましようか。

動労千葉は組織の総力をあげ、二波のストライキと七波の順法闘争で反撃に決起しました。

分割・民営化の目的は貫徹できたでしょうか。私たち動労千葉や国労が新会社の中で健在であるという事実が中曽根の破産を証明しているのです。私たちは四・一を新たな反撃のたたかいの日として団結をうち固めて、たたかいぬく決意です。

全国の仲間の皆様方には、昨夏・冬の物品販売に多大なご支援ご協力をいただきありがとうございます。解雇者をかかえた労働組合の財政基盤確立という困難な問題への挑戦でありましたが、当初の目標を達成することができ、全組合員がそろって確信を深めています。

さらに、新たに今春から日常販売を開始します。当面、四・五月目標にご協力をおねがいいたします。また、六・七月には夏季物品販売にとりくむ計画ですので、あわせてお知らせいたします。

以上、皆様方の日頃のご支援に心から感謝しつつ、かさねてよろしくおねがいいたします。

一九八七年四月

各位 殿

国鉄千葉動力車労働組合

執行委員長 中野 洋